学校番号	T3036

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）家庭一般	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活が豊かになるような個性溢れる自分好みの小物作りを楽しみます。作品作りの基礎となる刺繍や布の裁断方法等についてはプリント学習をします。少しずつ知識をつけて、自分らしさ溢れる作品を作りましょう。

2　学習の到達目標

（１）刺繍の基礎的な技能を身につける。また、ビーズなどの身近な材料を使った作品制作を行うことができる。
（２）作品の中に自分のアイデアや個性を表現することができる。
（３）楽しさ・喜び・達成感を感じ、また、他の作品の良さを認め、自身の作品をより良くするような姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・作品制作に必要な知識（刺繍の基本等）を理解し、アレンジ方法を身につけている。	・完成図をイメージし、工程を考えたり、色合いを考えたりすることができる。 ・作品制作で、自分らしさを表現することができている。	・他者の作品を見て、自分の作品へ取り入れるなど、よりよい作品制作のために改善しようと心掛ける態度。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～9月	ロールペーパーホルダー	布の裁断、アレンジ(刺繍・アップリケ・クロスステッチ)	a:刺繍の基礎を身につけることができる。 b:完成図をイメージし、作品制作ができる。	プリント	作品提出	

	ビーズ	ビーズを使って作品を作る（初級）	b:色合いや大きさを考え、個性的な作品を作ることができる。 c:完成した作品から、課題や反省点を見つけようとすることができる。		作品提出	レポート提出
	作品発表	作品発表	b:作品について、自分がこだわったところや、難しかったところを言葉で表現することができる。 c:他者の作品をみて、良いところをみつけ、作品制作の幅を広げようとすることができる。		作品発表	レポート提出
１０月～２月	ビーズ	ビーズを使って、作品を作る（中級）	a:細かい作業も正確に作り上げることができる。 c:最後まで集中し、作品制作に取り組む態度。	作品提出		観察
	創作	身近な材料で自由に創作する	a:必要となる材料を正確に準備することができる。 b:プリントに下絵を描き、自分の作りたい作品を表現することができる。 c:作品創作を振り返り、反省点を見つけ、課題を見つけることができる。	観察	プリント	振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度